

ばらの丘通信

No.17 2010年11月1日
社会福祉法人つちや社会福祉会

ケアセンター



つちやホーム



ローズヒル



TSUCHIYA-HOME and ROSE HILL

個別外出

つちや社会福祉会では、ご利用者に楽しく有意義な1年を過ごしていただけるよう、日常でのレクリエーション以外に年間行事としてお誕生会や四季の行事を行っています。毎年恒例となっている、お花見もそのひとつです。施設から程近い水道局まで車で5分くらいの距離ですが、道中は車窓から見える景色に、ご利用者は旬の野菜のことや昔の話で盛り上がっていました。青空に映える満開の桜並木を眺めながらおやつを食べ「桜がきれいな」「外で食べると格別」などと施設内では見られない笑顔と感嘆の声も聞かれ、楽しい時間を過ごしリフレッシュされていました。



認知症サポーター養成講座

「平塚市高齢者よろず相談センター ひらつかにし」では、認知症サポーターの活動を、地域に広めようと支援しています。今回は、土屋公民館で開かれた認知症サポーター養成講座の様子を紹介します。60才代～80才代の年齢層を中心に、地域の方々50名の参加がありました。認知症サポーター養成講座では、認知症の理解を深めて、予防や対応をどのようにすれば良いか、講義やビデオ、グループワークを通して考えていきます。中でも参加者で行うグループワークは盛り上がり、同窓会で同じ話を続ける級友、日中でも雨戸が閉め切ったままの家、小銭の計算が出来なくてレジで一万円を支払う場面など、参加者の実体験に基づいた認知症の話題が多く出されました。そういった場面では、自分にどういった親切があればよかったのか？もし、認知症の相手の方が、自分だとしたらどのように配慮して欲しいか？ その答えを出すのは容易ではありません。認知症は見た目では分かりづらいものです。でも、認知症という事に限らず、本来、地域の関わりあいは気さくで、少しの心配を声に出せる、声をかけられる事が当然だったはず。認知症サポーター養成講座は、そういった声を広めて地域の中での支え合い、また、地域と行政、福祉とを結びつける役目もあります。今、その輪は企業や学校、自治会や組合にも広がりを見せています。その担い手となる認知症サポーターの方々を始め、地域の方々が、認知症を身近な生活場面で捉え、認知症の垣根を越えて地域の生活を支えようと考えて下さっています。



編集後記

2010年大変暑い暑い夏も終わり、過ごしやすい気候の秋になってきました。第17号「ばらの丘通信」はいかがだったでしょうか。この通信は施設入所者、利用者と家族そして地域の皆様の交流の一端となることを願い作成しております。今後も皆様の楽しめる紙面になるように頑張っていきたいと思っております。

広報委員一同

お知らせ

地域包括支援センターの呼び名が「高齢者よろず相談センターひらつかにし」になりました。センターは高齢者の生活や権利、介護、健康に関して広く相談を受け付けています。地域の皆様の声を大切に、地域と共に成長していくセンターを目指していきたいと思っております。お気軽にご相談下さい。お待ちしております。

「高齢者よろず相談センター ひらつかにし」 TEL 59-5544

第17号 平成22年11月1日発行

■発行 〒259-1205 平塚市土屋2196番地1 社会福祉法人 つちや社会福祉会 理事長 水島 貞

■編集 広報委員会 ■電話 0463(58)6677 FAX 0463(58)0429 ■URL <http://www.rosehill.or.jp>

法人の概要 □所在地 神奈川県平塚市土屋2196番地1 Tel.0463-58-6677 Fax.0463-58-0429
URL http://www.rosehill.or.jp/ E-mail info@rosehill.or.jp

□代表者氏名 理事長 水島 貞

□事業内容

介護老人福祉施設	ローズヒル	Tel. 0463-58-6677 (直通)
短期入所生活介護	ローズヒル	
軽費老人ホーム	つちやホーム	Tel. 0463-58-6624 (直通)
通所介護	ローズヒルケアセンター	Tel. 0463-58-6872 (直通)
居宅介護支援事業者	ローズヒルケアセンター	
配食サービス	ローズヒルケアセンター	Tel. 0463-59-5544 (直通)
平塚市高齢者よろず相談センター	ひらつかにし	

事業報告

利用者数 ※平成22年3月末日現在 (単位:人)

	ローズヒル		ローズヒルケアセンター		つちやホーム	
	特養	通所介護	通所介護	軽費	軽費	軽費
男	7	32				9
女	47	68				39
計	54	100				48

利用者平均年齢 (単位:歳)

	ローズヒル		ローズヒルケアセンター		つちやホーム	
	特養	通所介護	通所介護	軽費	軽費	軽費
男	79.0	84.6				77.3
女	87.0	85.0				86.1
全体	86.0	84.9				84.5
最高齢	102	99				97

介護度分布

	ローズヒル		ローズヒルケアセンター		つちやホーム	
	特養		通所介護		軽費	
	人	%	人	%	人	%
自立	0	0.0	0	0	27	56.0
要支援	0	0.0	25	25.0	12	25.0
要介護1	1	1.8	15	15.0	7	15.0
要介護2	7	13.0	28	28.0	2	4.0
要介護3	13	24.1	16	16.0	0	0.0
要介護4	21	38.9	12	12.0	0	0.0
要介護5	12	22.2	4	4.0	0	0.0
計	54	100.0	100	100.0	48	100.0

ローズヒル 本入所待機者状況

介護度別 (単位:人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
28	56	85	89	51	0	309

ローズヒルケアセンター・高齢者よろず相談センター

月	通所介護	居宅介護支援	介護予防支援	配食サービス
	延利用者数	ケアプラン作成件数	予防ケアプラン作成件数	延配食数
4	577	113	109	467
5	528	109	109	386
6	672	113	108	484
7	683	113	115	498
8	567	112	110	439
9	545	110	116	380
10	613	114	110	417
11	519	116	110	403
12	575	122	110	393
1	517	121	103	367
2	512	119	102	349
3	597	122	105	395
計	6,905	1,384	1,307	4,978

決算報告

財産目録 ※平成22年3月31日現在

勘定科目	金額
I 流動資産	301,413,177
II 固定資産	1,098,289,029
基本財産	867,731,494
その他の固定資産	230,557,535
資産合計	1,399,702,206
III 流動負債	18,075,934
IV 固定負債	74,432,200
負債合計	92,508,134
差引純資産額	1,307,194,072

事業収支計算書 ※平成22年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業活動収入	521,676,433	特別収支差額	△27
事業活動支出	488,151,889	当期活動収支差額	33,670,102
事業活動収支差額	33,524,544	前期末繰越活動収支差額	180,002,557
事業活動外収入	37,961,035	当期繰越活動収支差額	213,672,659
事業活動外支出	37,815,450	基本金取崩額	0
事業活動外収支差額	145,585	基本金組入額	0
経常収支差額	33,670,129	その他の積立金取崩額	0
特別収入	0	その他の積立金積立額	0
特別支出	27	次期繰越活動収支差額	213,672,659

賃借対照表

※平成22年3月31日現在

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	301,413,177	流動負債	18,075,934
現金預金	242,620,210	固定負債	74,432,200
未収金	55,703,688	負債の部合計	92,508,134
短期貸付金	0	純資産の部	
仮払金	3,089,279	基本金	740,003,825
その他の流動資産	0	国庫補助金等特別積立金	230,239,561
固定資産	1,098,289,029	その他の積立金	123,278,027
基本財産	867,731,494	次期繰越活動収支差額	213,672,659
その他の固定資産	230,557,535	純資産の部合計	1,307,194,072
資産の部合計	1,399,702,206	負債及び純資産の部合計	1,399,702,206



5月15日(土)に第24回きずなの会が開催され、家族会の定期総会とガーデンパーティが行われました。晴天に恵まれ、緑溢れる中庭で、ケーキバイキングと紅茶をいただきながら、音楽ボランティアの大庭先生のアコーディオン演奏に合わせて歌を歌い、楽しいひとときを過ごしました。

きずなの会

ボランティア紹介・峰月会

ローズヒルケアセンターに来るようになって今年で4年目になります。

毎月1回デイサービスにて新舞踊、民謡舞踊の踊りを披露しています。

峰月会では、相互の和と親睦を図ると共に踊る幸せ、地域への貢献をテーマに、日々稽古に励んでいます。施設を訪問することで、多くの利用者との出会い、ふれあい、喜びを共有し、有意義なひとときを過ごすことができる幸せを実感しています。

峰月会一同地域福祉に少しでも役立つよう、そして利用者の皆様に喜んで頂けるよう、今後もボランティア活動を続けていきたいですと代表の峰月静寿香先生。これからもよろしくお願いいたします。



つちやホームは利用者平均年齢84.5歳。腰や下肢の痛み、体調不良を訴えることもありますが、エレベーターのない施設で元気に過ごされています。毎年行う計測にはほとんどの方が体力の衰えもなく、状態を維持され、体調も安定しています。決まった時間に栄養やカロリーを考えた食事が振られているので、自立型のホームでの生活ができています。毎朝行う日課の体操や階段の登り、降りをする事で腰、下肢の筋肉が維持されます。クミンやレクリエーション、作品づくり、花壇での花や野菜づくり、他者との関わりも元気の源になっているのかも知れません。年を重ねることで、年齢的な衰えは感じるとは思いますが、なにより自分のことは自分でできるということができます。これから元気に過ごしていきます。



つちやホーム看護師の「ロードバイス

「介護保険負担限度額認定があります。」
介護保険施設を利用するにあたり、介護保険の費用は負担となりますが、それ以外の居住費(部屋代)や食費は保険給付の対象外となっています。ただし、世帯の収入に応じて負担の上限額を設定し、その差額を保険給付する事で、施設利用が困難にならないようにしています。施設入所の場合は、費用が半額近くになる場合もあります。



「ショートステイや施設入所で、特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの、介護保険施設を利用する場合には、費用を安くする制度があると聞いたのですが、どのようなものなのでしょうか？」
「介護保険負担限度額認定があります。」
介護保険施設を利用するにあたり、介護保険の費用は負担となりますが、それ以外の居住費(部屋代)や食費は保険給付の対象外となっています。ただし、世帯の収入に応じて負担の上限額を設定し、その差額を保険給付する事で、施設利用が困難にならないようにしています。施設入所の場合は、費用が半額近くになる場合もあります。

おしえて！ ケアマネジャー